

参考資料1. 主要渋滞箇所のモニタリング結果

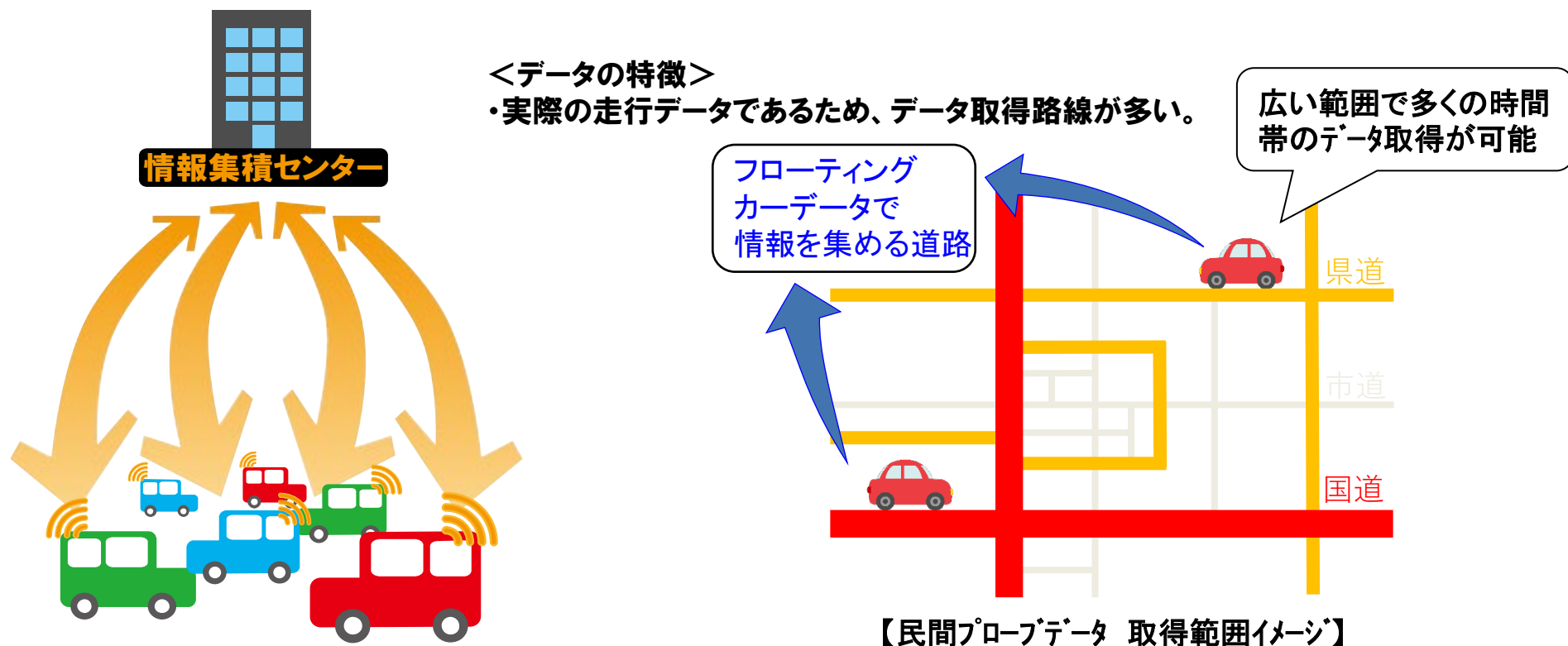
■最新の旅行速度データを用いた交通状況の整理

- ・民間プローブデータを用いて、エリア別・区間別・時間帯別の旅行速度を整理。

【民間プローブデータの概要】

- ・民間企業が独自に会員から収集したフローティングカー情報

フローティングカーシステムとは・・・情報収集機器装着車が実際に走行しながら、その時の走行データ（フローティングカーデータ）を収集し、独自のルート案内などに活かすシステム



■差図の集計

課題

以前の表現方法では、速度の変化の詳細把握が困難
(10km/h幅で着色しているため、数km/hの速度変化がわかりにくい)

従来の凡例

10km/h未満	10~20km/h	20~30km/h
30~40km/h	40km/h以上	データなし

令和元年 第2回北部地域渋滞対策WGから対応

対応

過年度との旅行速度の差分で表現し、速度変化をわかりやすくした。

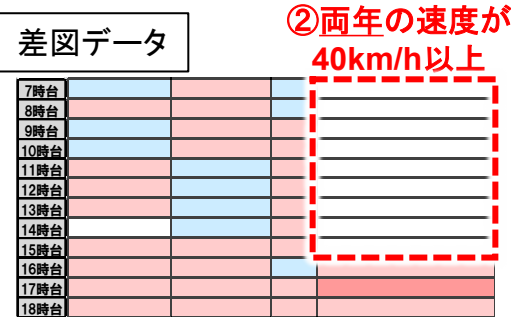
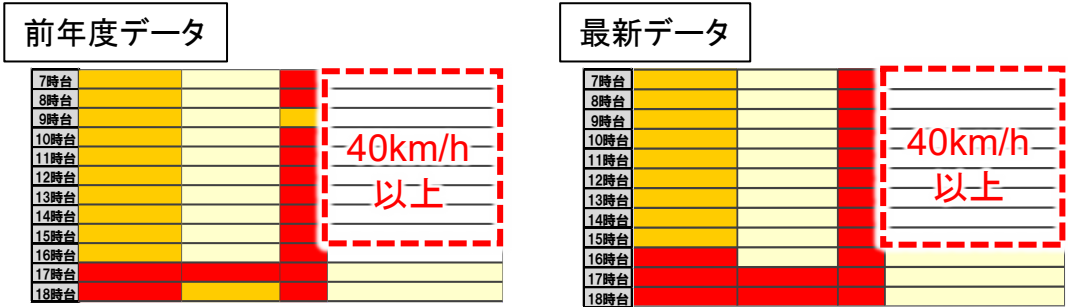
■表現方法

- ①前年度から今年度にかけての速度変化を「8段階」で表現
(10km/h以上低下、10km/h以上向上を速度変化ありと判断)
- ②「前年度と今年度の両年の速度が40km/h以上」の場合は、
ある程度円滑性が確保されているため「白」で表示

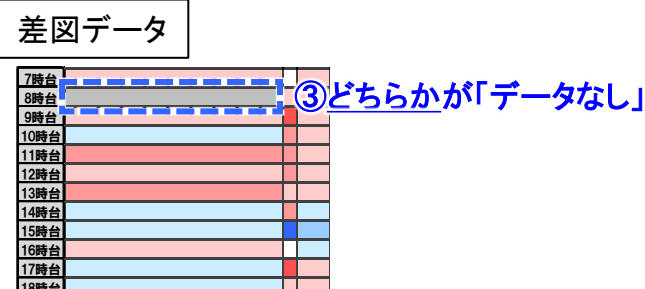
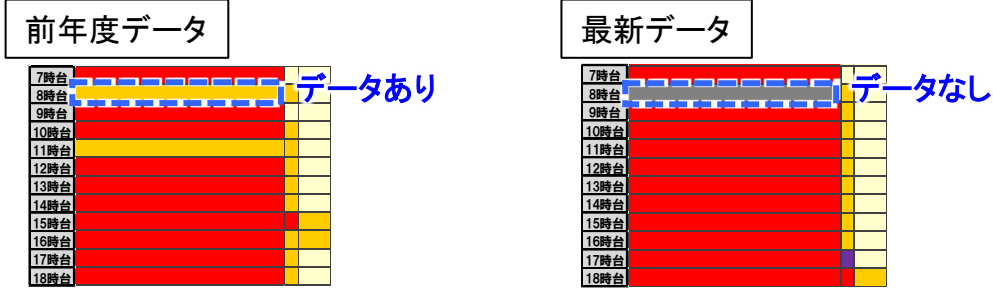
差図の凡例

10km/h以上低下
5~10km/h低下
0~5km/h低下
0~5km/h向上
5~10km/h向上
10km/h以上向上
速度40km/h以上
データなし

①速度変化を「8段階」で表現



- ③前年度、今年度のどちらかが「データなし」の場合は、「グレー」で表示



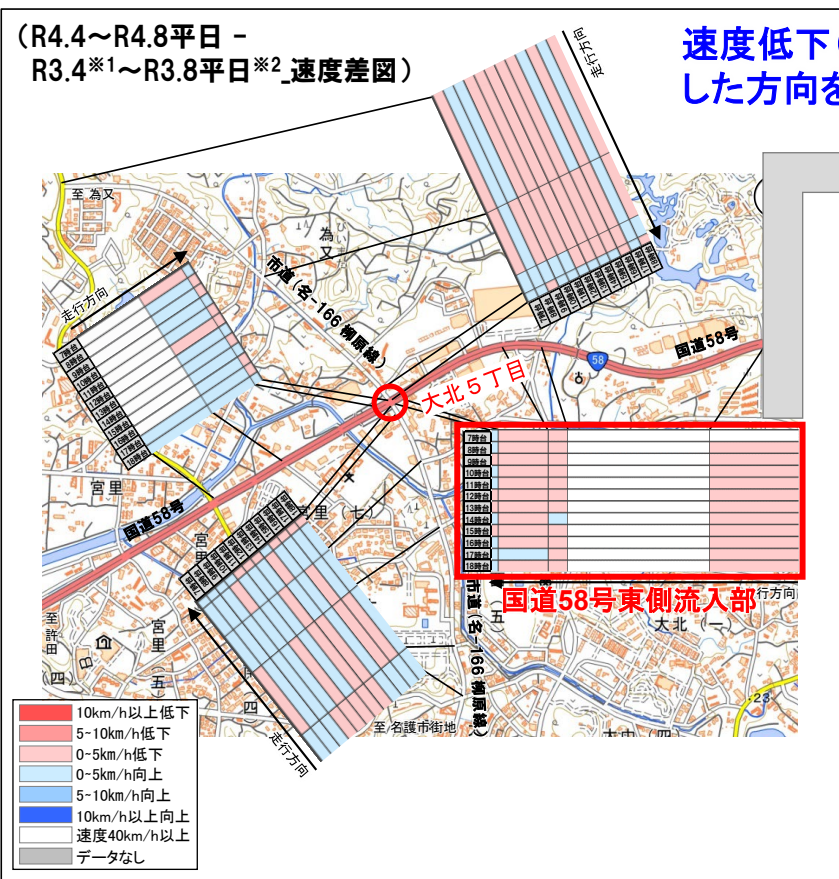
令和2年度 第1回北部地域渋滞対策WGでの質疑

課題 当該年次と1年前の差図により変化程度は分かるが、年度毎の変化状況が分かりにくい
(突然、速度が低下したのか。徐々に悪化しているのか。悪化していたものが好転したのか。等)

令和3年度 第1回北部地域渋滞対策WGから対応

対応 速度変化が発生している方向について、交差点直近リンクの速度状況を3か年分集計し、
速度変化の程度を示す。

■表現方法(例:大北5丁目交差点)



■分析対象・集計リンク(例:大北5丁目交差点_国道58号東側流入部)

7時台			
8時台			
9時台			
10時台			
11時台			
12時台			
13時台			
14時台			
15時台			
16時台			
17時台			
18時台			

※2リンク集計時は、DRM延長による加重平均で速度を算出

交差点の直近リンクの速度を算定
⇒直近リンクの延長が短い(10m程度)の場合は直近2リンク※で集計

□表現方法(例:許田交差点_国道58号北側流入部)

	R2年4月~8月	R3年4月~8月	R4年4月~8月
7時帯	64.7	65.3	65.9
8時帯	64.1	64.7	62.4
9時帯	64.1	61.9	60.8
10時帯	62.4	57.8	58.8
11時帯	61.4	57.8	58.8
12時帯	60.8	59.3	57.8
13時帯	58.8	53.5	53.5
14時帯	58.3		43.0
15時帯	55.6	速度低下	37.5
16時帯	57.8	42.3	31.1
17時帯	59.8	47.0	35.8
18時帯	60.3	56.9	42.8

過去3か年分を集計
✓各年度の4月~8月で集計
✓主要渋滞箇所(3軸(休日)で選定されている箇所は、観光繁忙期(GW・8月休日)で算定
・速度が20km/h未満に凡例を表示
・速度変化が発生している時間帯を枠線で表示

凡例
10km/h未満
10~20km/h未満

■モニタリング結果：北部地域全体の状況

現状／最新データ(R5.4～R5.8)、差図／最新データ(R5.4～R5.8)－1年前データ(R4.4～R4.8)※1※2※3
※主要渋滞箇所に3軸(休日)で選定されている箇所は、上記期間の観光繁忙期(GW・8月休日)で算定

・最新データ(R5.4～R5.8)と、1年前(R4.4～R4.8)で速度向上箇所及び、速度低下箇所の状況を確認した。

【①旅行速度の低下がみられる主な箇所】

- ・許田交差点 3軸(休日)選定箇所

【②旅行速度の向上がみられる主な箇所】



撮影日：令和6年5月29日

写真①：許田交差点



●：旅行速度低下箇所
●：旅行速度向上箇所

※1 コロナ感染拡大警報(R4.4.20(水)～R4.4.28(木)、R4.5.13(金)～R4.6.9(木)、R4.7.11(月)～R4.7.24(日))
※2 沖縄県医療非常事態宣言期間(R4.7.21(木)～R4.9.29(木))
※3 新型コロナウイルス5類移行(R5.5.8(月)～)

<(参考)H24年度主要渋滞箇所の抽出条件(1～3軸の基準、パブコメ指摘のどれかに該当する場合、主要渋滞箇所として選定)>

選定時	【1軸】交差点損失80万人時間/年以上 ((注)昼間12時間損失時間の年間合計値)	平日・休日のデータ
	【1'軸】ピーク時交差点損失182.6人時間/時以上	平日・休日のデータ
	【2軸】ピーク時速度20km/h以下、かつ昼間12時間損失時間ワースト100以内	平日のデータ
	【3軸】休日の速度低下が著しい箇所	休日のデータ
	【住民意見】パブリックコメントによる指摘箇所	

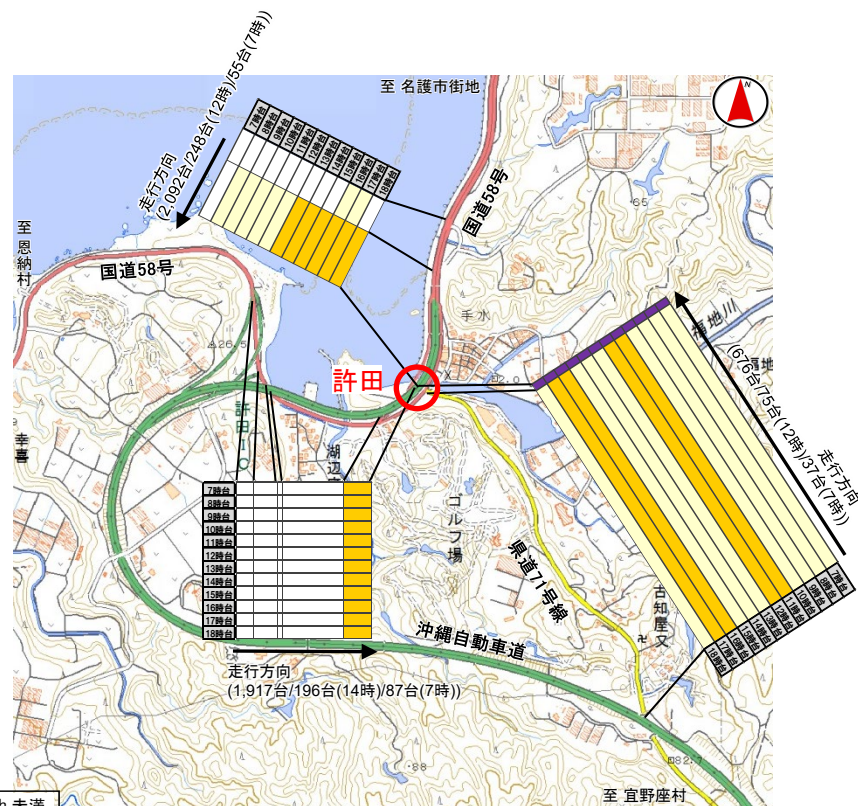
H24ワースト100位の損失時間
：209,985人時間/年

■モニタリング結果:速度低下箇所(個別箇所6:許田交差点)

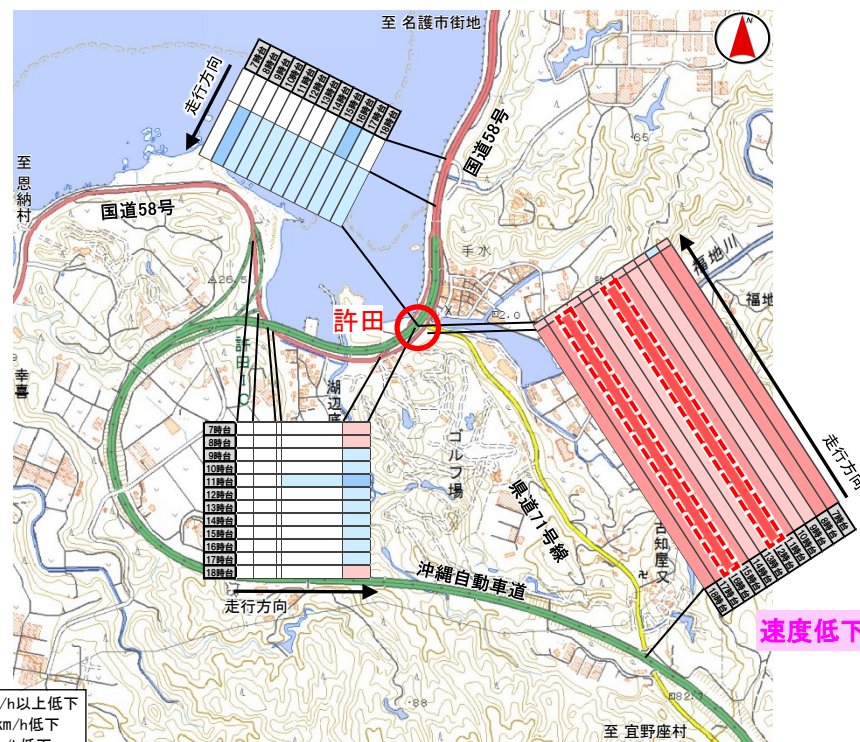
休日(3軸)

- 全方向で20km/h未満の速度は見られない。
○昨年との比較では、県道71号線からの流入部において速度低下が見られる。

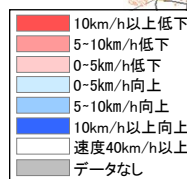
(R5.GW・R5.8休日)



(R5.GW・R5.8休日－R4.GW.R4.8休日—速度差図)



速度低下

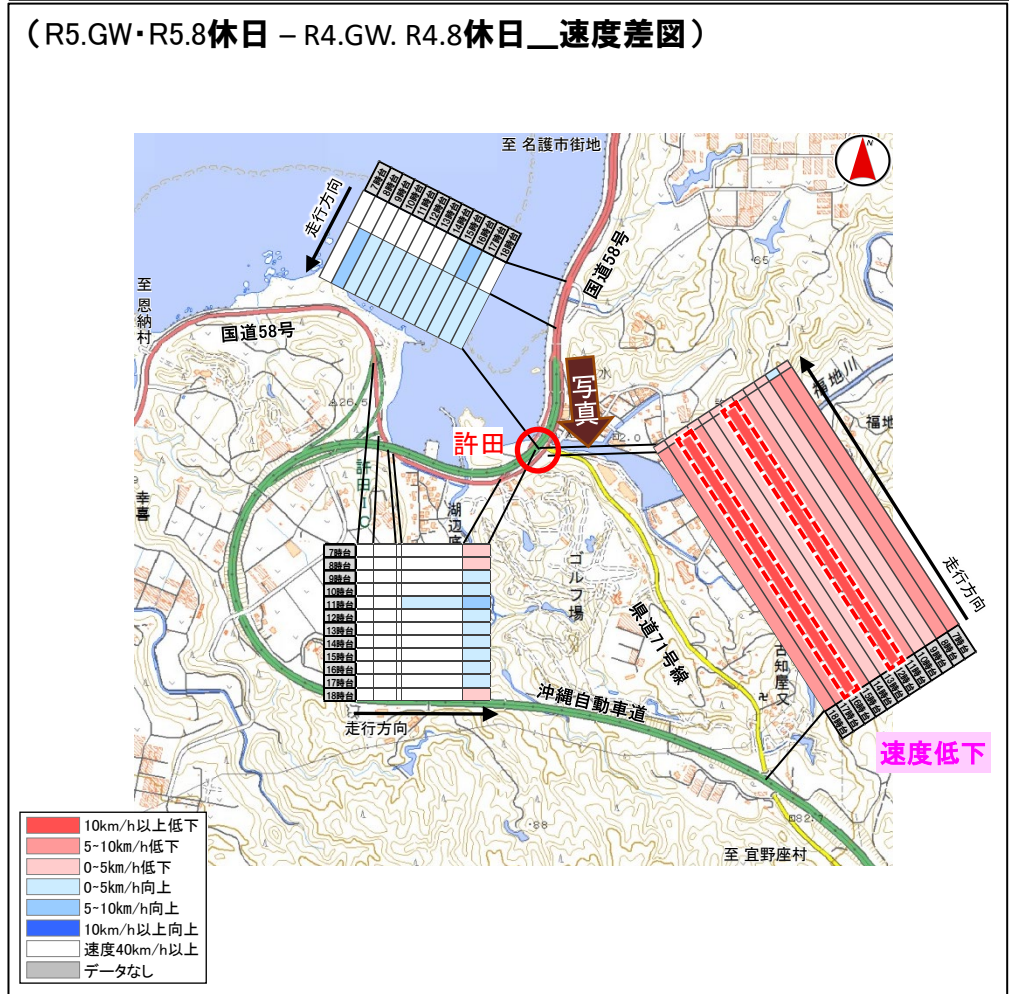


※(12時間合計サンプル数/最大サンプル数[時間]/最小サンプル数[時間])

■モニタリング結果：速度低下箇所（個別箇所6：許田交差点_県道71号線側流入部）
/ 県道71号線側流入部におけるR5年時の速度低下要因

休日(3軸)

○昨年度(R4年)と比較すると、県道71号線側流入部において全時間帯で速度が低下している。
○交通量の増加(R4年サンプル数:561台/12h<R5年サンプル数:676台/12h)や、土砂崩れに伴い車線規制(片側1車線通行)を実施しており、仮設信号機を設置していることが速度低下の要因と考えられる。
※R5年8月6日(日)台風6号により被災し全線通行止め。R5年8月8日(月)から片側通行規制。R7年3月末復旧予定



■県道71号線側流入部(休日)
(時間帯別速度※)

	R3年GW・8月休日	R4年GW・8月休日	R5年GW・8月休日
7時間帯	42.1	40.4	31.0
8時間帯	37.9	39.6	32.8
9時間帯	37.9	37.0	32.2
10時間帯	38.8	36.0	32.3
11時間帯	36.8	36.3	28.6
12時間帯	37.7	36.8	26.5
13時間帯	34.7	35.0	30.5
14時間帯	35.6	35.6	32.9
15時間帯	35.9	36.1	30.6
16時間帯	38.9	36.6	25.2
17時間帯	34.4	34.4	28.7
18時間帯	38.9	38.9	30.8

速度低下

凡例
10km/h未満
10~20km/h未満

※1 沖縄県まん延防止等重点措置期間 (R3. 4/12(月)~R3. 5/22(土))
※2 沖縄県緊急事態宣言期間 (R3. 5/23(日)~R3. 9/30(木))
※3 コロナ感染拡大警報 (R4. 4. 20(水)~R4. 4. 28(木)、R4. 5. 13(金)~R4. 6. 9(木)、R4. 7. 11(月)~R4. 7. 24(日))
※4 沖縄県医療非常事態宣言期間 (R4. 7. 21(木)~R4. 9. 29(木))
※5 新型コロナウイルス5類移行 (R5. 5. 8(月)~)



写真: 許田交差点県道71号線側流入部

■モニタリング結果：中部・南部地域の状況

- ・最新データと昨年度データを比較し、速度低下箇所の状況を確認した。
- ・また、対策実施済み箇所（解除検討箇所）について速度向上（整備効果）を確認した。

【速度低下が顕著な箇所】

- ・瑞慶覧
- ・国体道路入口
- ・北谷
- ・仲井真

⇒速度データから**速度低下**を把握
（現地状況を確認の上、想定される要因を整理）

※交通状況悪化の把握では、最新データ（R5.4～R5.8）と、昨年度データ（R4.4～R4.8）を比較

※朝夕ピーク時の速度が、20km/h未満となっており過年度に比べ1km程度連続して速度低下している主要渋滞箇所をピックアップ。

【速度向上した箇所】

- ・芸大首里崎山キャンパス近く
- ・愛知交番前
- ・新川
- ・松川
- ・豊見城IC

⇒速度データから**速度向上**を把握
（道路整備や交差点改良等により、選定指標から外れ、速度向上が確認できた箇所を整理）
（※4章で説明）

※交通状況改善の把握では、対策実施前後のデータを比較

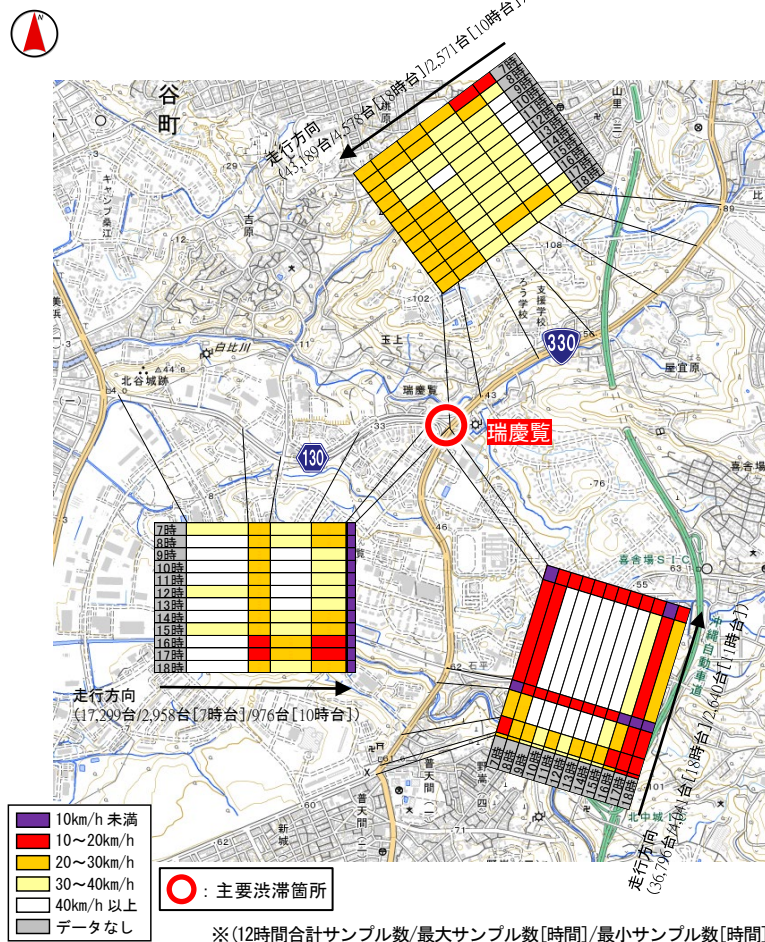
【中部】モニタリング結果：速度低下箇所(瑞慶覧交差点)

・速度変化状況：国道330号の北向け16～18時台に10km/h以上の速度低下

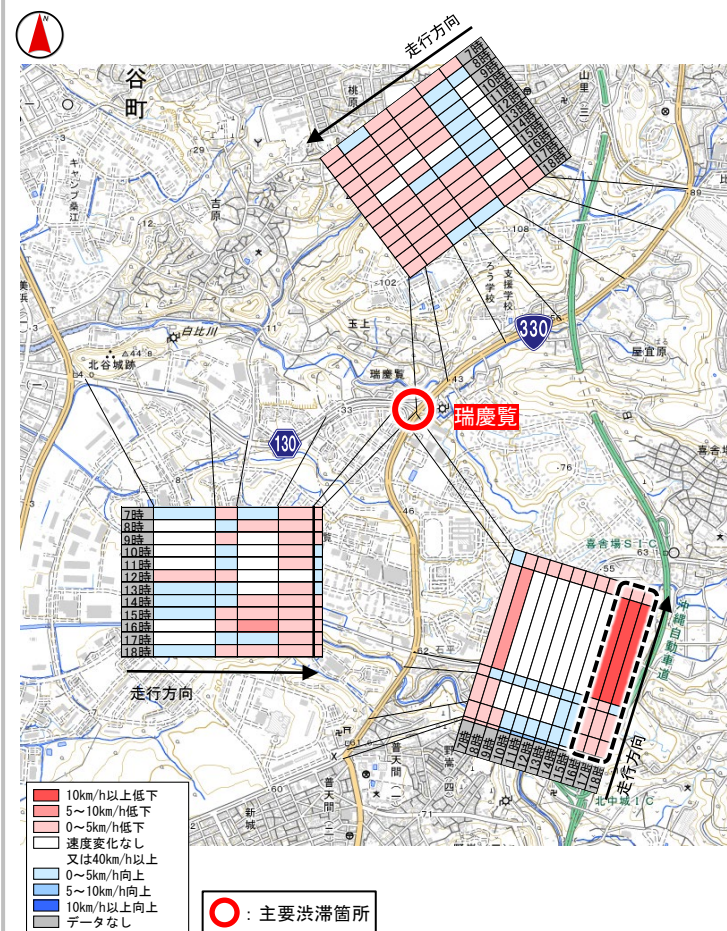


データ：民間プローブデータ
 (令和4年4月～8月平日、
 令和5年4月～8月平日)

(R5.4～8平日)



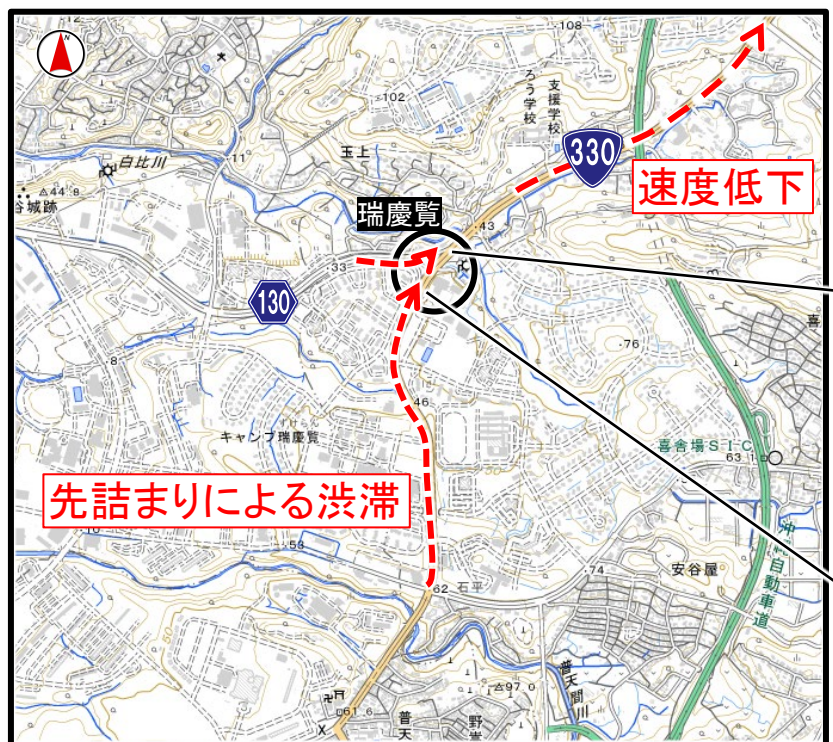
(R5.4～8平日 - R4.4～8平日_速度差図)



【中部】瑞慶覧交差点の現地状況

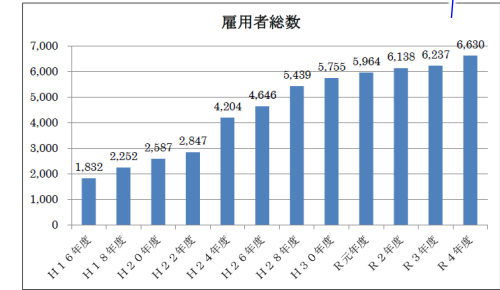
- 県道130号線から左折(フリー)合流する交通の影響により、国道330号で速度低下していることを確認した。また、ライカム交差点を先頭とした速度低下も発生している。
 - 瑞慶覧交差点は沖縄西海岸と東海岸を結ぶ道路上に位置し、中部・南部地域の交通が集中する交差点であり、近年の中城湾港新港地区の企業数増加の影響も考えられる。
- ⇒渋滞要因を特定するため、引き続きモニタリングを実施する。

<現地渋滞状況>



現地踏査: R6.5.27_17時台

<道路ネットワーク>



資料: R4中城湾港新港地区雇用状況等調査レポート

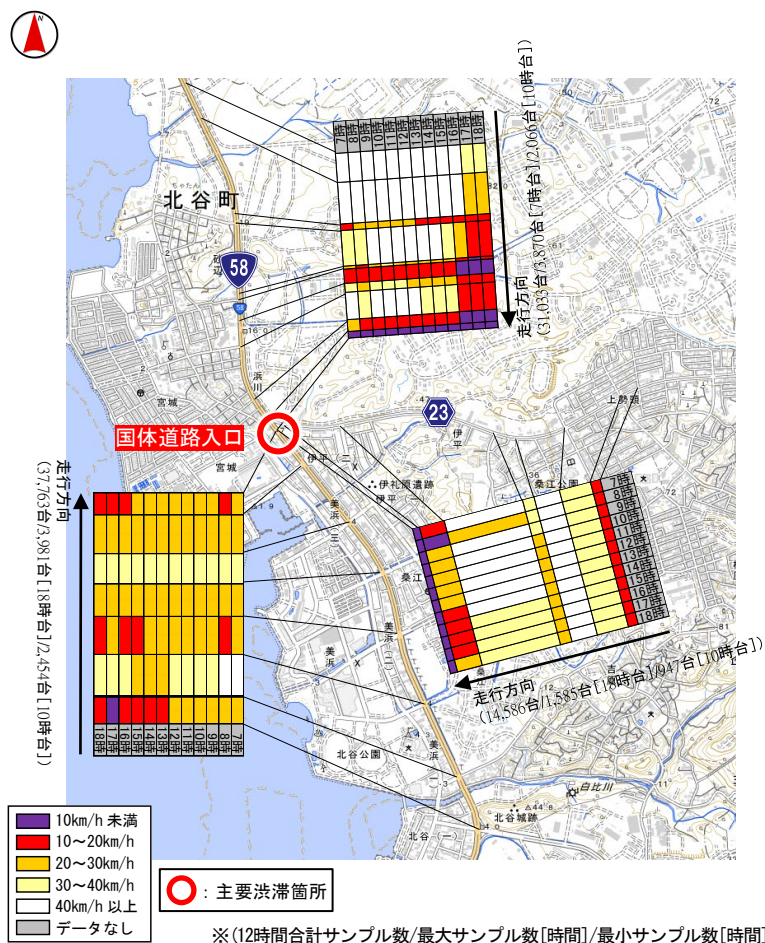
【南部】モニタリング結果：速度低下箇所(国体道路入口交差点)

・速度変化状況：国道58号の南向け17・18時台に10km/h以上の速度低下

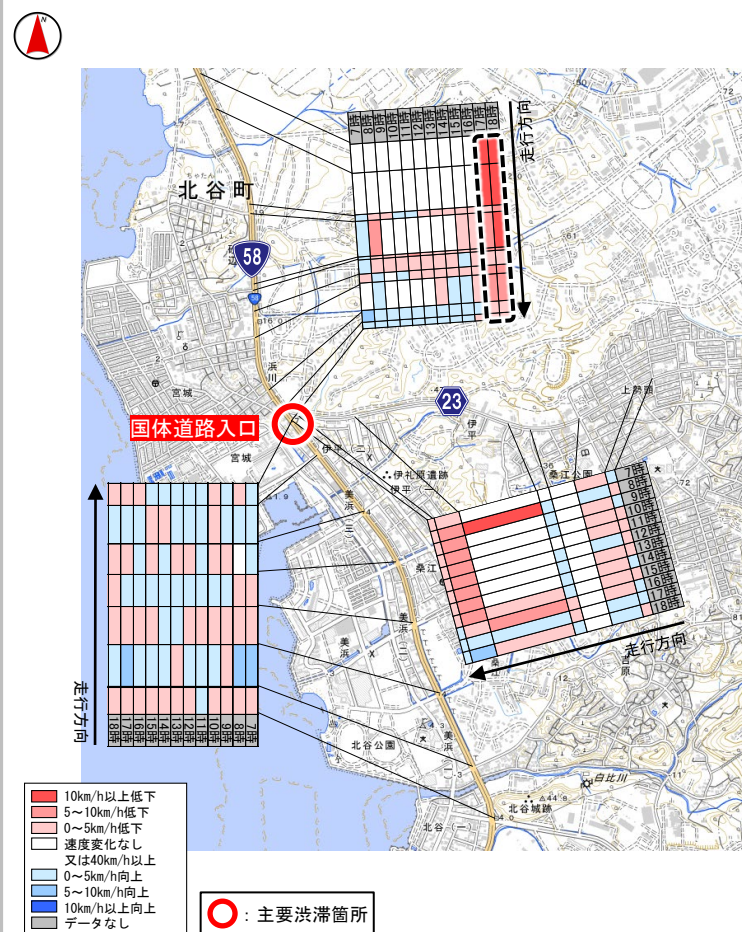


データ：民間プローブデータ
 (令和4年4月～8月平日、
 令和5年4月～8月平日)

(R5.4～8平日)

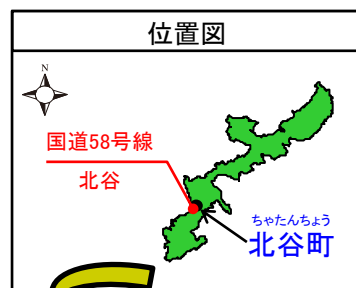


(R5.4～8平日 - R4.4～8平日_速度差図)



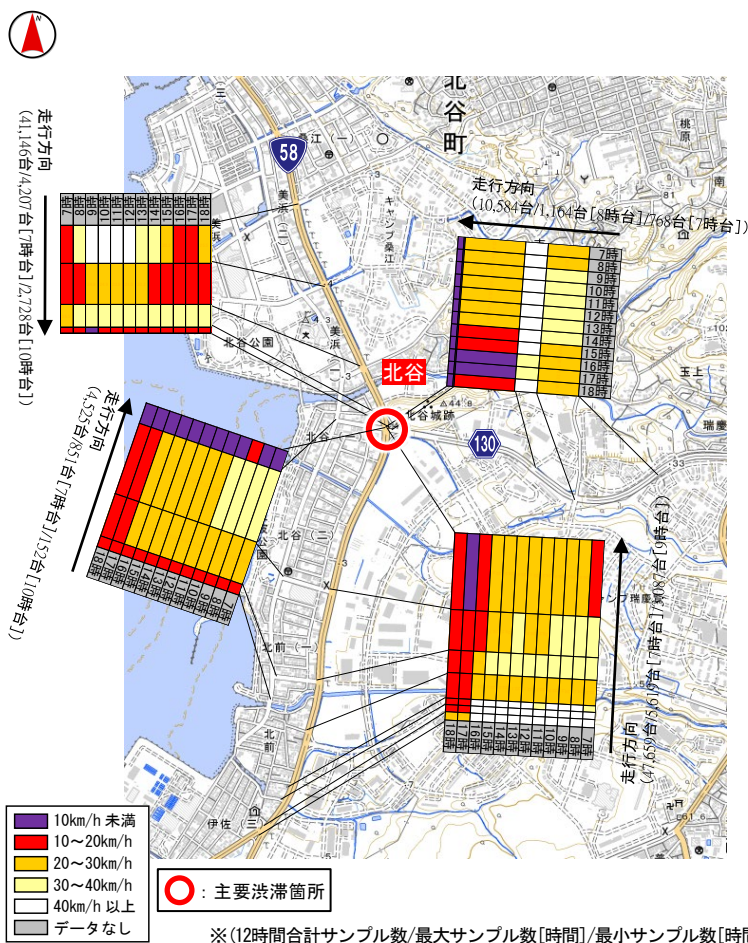
【南部】モニタリング結果：速度低下箇所（北谷交差点）

・速度変化状況：国道58号の北向け17・18時台に10km/h以上の速度低下

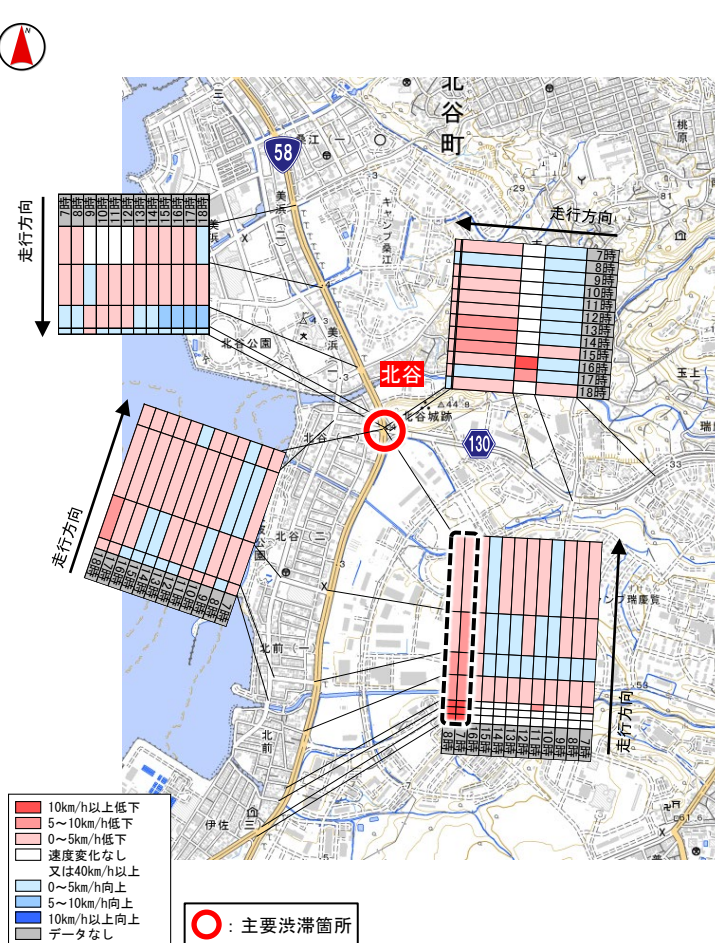


データ：民間プローブデータ
 （令和4年4月～8月平日、
 令和5年4月～8月平日）

（R5.4～8平日）



（R5.4～8平日－R4.4～8平日_速度差図）



【南部】国体道路入口交差点、北谷交差点の現地状況

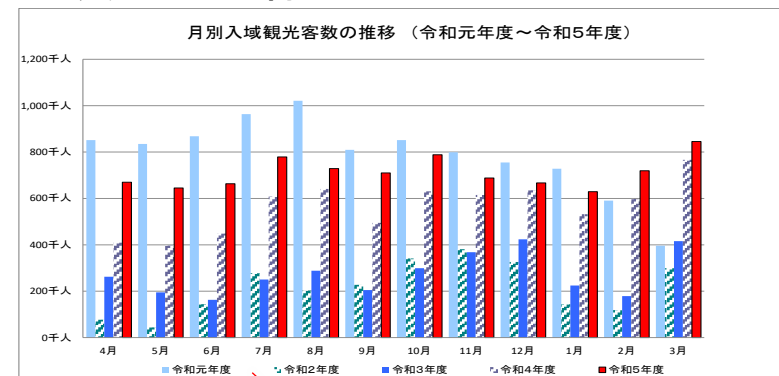
○速度低下につながる走行阻害要因は確認できず、交通集中による交通容量超過と考えられる。
 ⇒R5.5に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へ移行されたこともあり、沖縄入域観光客は増加傾向にある。沖縄西海岸地域には、リゾートホテルが数多く立地しており、観光客の増加により国道58号の交通量が増加している可能性がある。
 渋滞要因を特定するため、引き続きモニタリングを実施する。

＜現地渋滞状況＞



現地踏査: R6.5.27_17時台

＜観光客の増加＞



資料: 沖縄県入域観光客統計概況(速報)
R6.5.27公表



観光客数は回復傾向

リゾートホテルの多くは国道58号沿いに立地しており、観光客増加の影響を受けやすいと考えられる。

資料: 沖縄県観光要覧

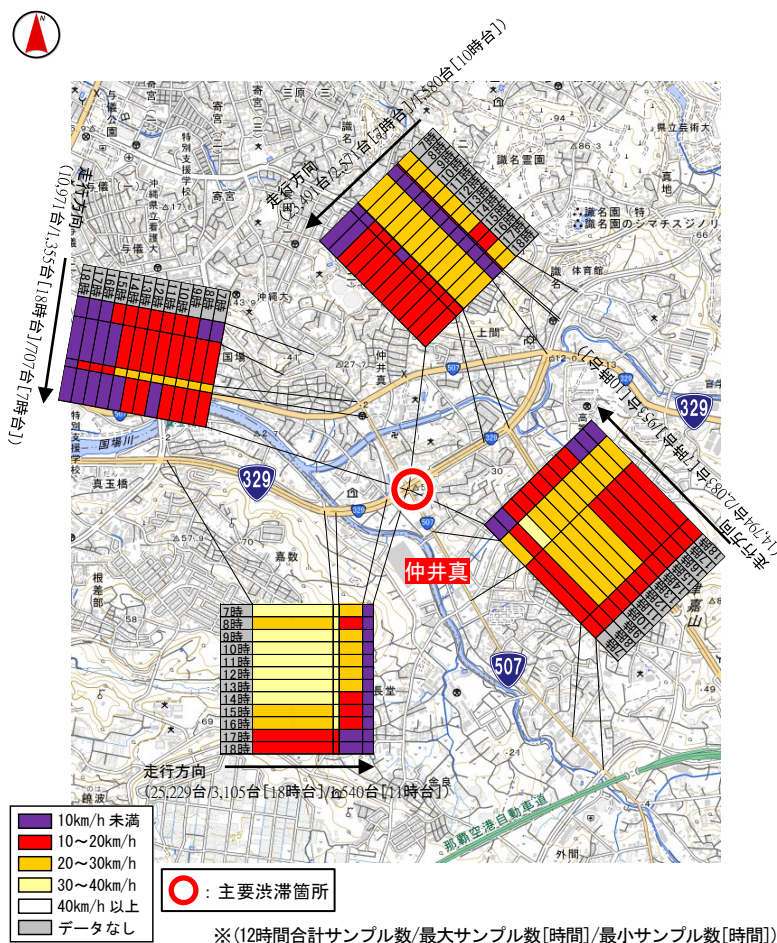
【南部】モニタリング結果：速度低下箇所（仲井真交差点）

・速度変化状況：国道329号の東向け18時台に10km/h以上の速度低下

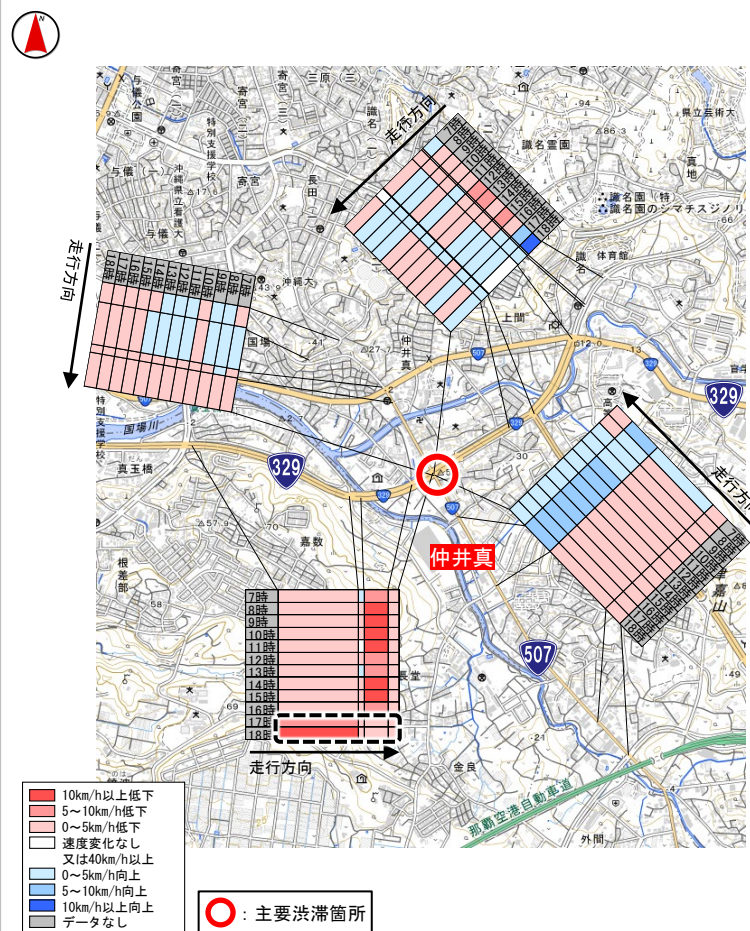


データ：民間プローブデータ
 （令和4年4月～8月平日、
 令和5年4月～8月平日）

（R5.4～8平日）



（R5.4～8平日－R4.4～8平日_速度差図）



【南部】仲井真交差点の現地状況

○沿道施設の出入や脇道からの流入交通はあるものの、車線を閉塞するような事象は確認出来なかったため、主な渋滞要因は交通集中による交通容量超過と考えられる。
 ⇒与那原・南風原バイパスの開通に伴う交通量の増加や、小禄道路の工事により迂回交通の一部が通行していることが考えられる。渋滞要因を特定するため、引き続きモニタリングを実施する。

<現地渋滞状況>



<2環状7放射道路>

